

令和8年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（秋季）

憲 法

【注 意】

問題ごとに解答紙（答案用紙）を分けること。それぞれの解答紙の解答部分冒頭に、いずれの問題に対する解答であるかがわかるよう、適宜問題番号等を記載すること。

【第1問】

ある争いが法律上の争訟に当たるか否か（裁判所が審判権をもつか否か）について、宗教上の教義に関する争いを具体例として挙げつつ、判例を踏まえて説明しなさい。

【第2問】

株式会社Aの就業規則には、「従業員は、男子満65歳、女子満60歳をもって定年とする」とあり、その年齢に達した年度末に退職することとなっていた。この就業規則をめぐる憲法上の問題点を説明しなさい。